

# **BCP 維持管理研究会 Agenda (2013年1月25日)**

開催日時: 1月25日(金) 17:00~19:00

場 所: BCAO 神田オフィス

参加者:(後記)

---

## **1. 1 月度研究テーマ【本日の意見交換】**

### **1.1. 訓練演習の評価について**

#### **(1) 研修や演習計画の作成**

- ①啓発、研修方法の開発
  - 啓発と研修ニーズの調査を行う。
  - 期待値に対する現状レベルや準備体制をベンチマークする。
  - 啓発とギャップにフォーカスした計画を立てる。
  - 研修プロセスをつくる。
  - 研修ポイントに優先順位を付ける。
  - 研修の実施方法を選択する
- ②演習やテストプログラムの構築
  - 組織の目標に合った演習プログラムを作成する。
  - 組織をリスクのある状態におかず、実用的で費用対効果が高く、組織の復旧機能に対する高い信頼を確保する演習戦略を策定する。
    - ・演習、テストの基準やガイドラインを策定する。
    - ・演習、テストの前提と限界を定義する。
    - ・演習タイプを確認する。
  - 演習、テストプログラムの参加者、役割、責任を確認する。
  - 演習プログラムの目標を決め、適切なシナリオを選定する。
  - 演習目標や範囲と一致している評価基準を文書化する。
- ③演習後の活動を確認する。
  - 演習結果に対する反省会を持ち、改善のための活動を確認する。
  - 経営者に演習結果を報告する。

#### **(2) 演習の評価基準の構築**

- ①次の点を考慮して演習目的と範囲に沿った基準を作る。
  - ・測定できる、定量的、定性的
- ②設定した基準に対する結果を文書化する。
  - ・予測に対する実際の結果
  - ・予想外の結果
- ③演習の管理計画とレポートを準備する。
  - ・演習の目的を決め、組織に適したシナリオを選定する。
  - ・前提条件を決め、制約事項を描く。
  - ・演習を行うために必要とされるリソースを確認し、参加者を選定する。  
また、参加者が演習目的と組織体制・役割を良く理解しておく。
  - ・演習の審判員(評価者)を選定し、全体の役割と責任を明確にしておく。
  - ・演習環境のためのツールや演習に必要なアイテムを事前に準備しておく。
  - ・タイムテーブルを準備し、参加者、ファシリテータ、評価者に事前に知らせておく。

### 《訓練(演習)評価項目》

BCPの構造、内容、及び活動セクションを評価する。

- ・BCPのセクションが復旧に対処できるようになっているか判断する。
- ・緊急時の対応(行動)と手続きの妥当性を評価する。

#### ①被害想定シナリオ

- － 被害想定シナリオは、拠点環境などと合致しているか？
- － 目的・目標に対する達成状況は？
- － 演習実施に対する問題点・課題は何か？
- － 参加者からの意見や提案内容は何か？(アンケートなどを活用)

#### ②設備機器やドキュメント

- － 事業継続の代替場所や施設は適切か？
- － 使用した設備機器や備品は、復旧作業に役立ったか？不足しているものは無いか？
- － 設備機器は、仕様とおり機能(稼動)し、使用者のスキルに問題点はなかったか？
- － 事業継続能力向上のために必要な新規設備機器ないか？
- － 緊急時行動計画や各種ドキュメントに不備や追加など必要ないか？

#### ③成熟度(達成状況)

- － 目標復旧時間に対する復旧状況は？
- － 演習目標に対する達成レベルは、許容範囲であったか？  
臨機応変な危機対応能力、危機の兆候察知能力、情報収集・整理(分析)能力、優先順位(トリアージ)能力、戦略的な対応能力、冷静な状況判断能力 など

### (3) 演習、テスト実施結果の報告

①演習後は、主催者によって特定された要員(ファシリテータ、評価者など)によって、説得性のある包括的な要約を提供する。

②結果のフィードバックとモニター

演習結果をレビューし、改善のためのアクションアイテムを明確にする。

※評価チェックシートは別紙を参照ねがいます。

## 1.2. BCP/BCMの用語解説集作成について

(1)用語の選定方法について

(2)担当者の割り当て

(3)推進方法

## 2. 連絡事項

・次回研究会開催予定日

2月28日(木) 17:00~19:00 研究会

※演習評価チェックシートは、組織で作成した基準・ガイドラインに従って、組織・部門の成熟度を評価することです。

※組織の状況に応じて、評価項目を検討すること。

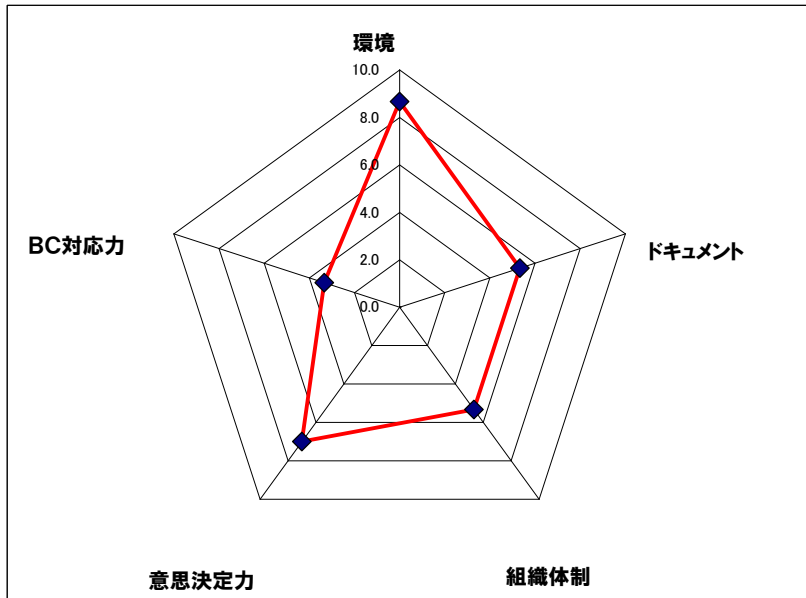
### 訓練（演習）評価チェックシート

評価項目	確認内容	評価	観察事象 ※評価基準の参考資料※
環境	対策本部設置場所	・停電でも作業可能な窓のある場所に設置されているか？	4 ・設置場所は、窓があり停電でも作業しやすい場所か ・設置場所は、開放的で空気が流れやすい場所か
		・大きな地震でも転倒・落下しにくいものは置いていないか？	5 ・対策本部室のロッカーや机などを設置している場合、耐震対策が施されているか？
		・本部員が集合しやすい場所か（エレベータ無しでも移動可能）？	4 ・低層階に設置しており、エレベータなしでも近隣への移動は容易にできるか？ ・昼間は、照明がなくても作業可能か？
	設備機器	・対策本部として活動可能な設備・備品は準備されていたか？	4 ・TVやラジオなどは設置されており、正常に受信できるか？ ・ヘルメット、防寒具、照明器具等の準備されたか？
		・準備した設備機器は役立ったか？（仕様とおりに移動したか？）	4 ・発電設備、PC、通信機器などは、訓練で使用しており役立ったか？
		・MCA無線や衛星携帯電話は、対策本部内で通話できているか？	5 ・対策本部内から通話可能か？ ・予備バッテリーなどは準備されているか？
		8.7	
ドキュメント	手順書	・事業継続手順書や設備復旧手順書は準備されているか？	2 ・各チーム別の行動手順書は準備されているか？ ・必要に応じて、各部門の手順書は準備されているか？
		・安否確認（家族連絡先を含む）の情報入手の手順書はあるか？	4 ・社員の安否確認は明確になっているか？（派遣/請負社員は明確か？） ・家族との連絡手段は、全員に周知されているか？
		・各種手順書に不備・不足はなかったか？	2 ・近隣の地図（主要幹線道路が見やすい）は、準備されているか？ ・初動対応や事業継続手順書は揃っているか？
	外部連携	・顧客、取引先の連絡リストは整備されているか？	4 ・重要顧客や取引先のリストや連絡手段は明確になっているか？ ・必要な時に連絡を取っていたか？
		・避難所、医療機関などの場所や連絡リストはあるか？	2 ・医療関連、避難所などの場所や連絡先を記載した資料は準備されているか？
		・公共インフラの情報は容易に入手できているか？	2 ・TVやラジオなどを通して、公共インフラ情報はタイムリーに入手しているか？ ・近隣地域へ観察要員は、複数人派遣しているか？
		5.3	
組織体制	情報入手	・情報整理に多くの時間を費やしていないか？	2 ・収集したインシデントは、リソース別に分類し分かり易く、早く記載されているか？
		・重要度やリソース別などに応じて分類・整理されているか？	2 ・インシデントの進捗管理が出来るように、重要度やリソース別に分類・整理し、管理されているか？
		・アクションプラン作成のために必要情報は入手できているか？	2 ・行動指示のための情報を積極的に収集しているか？
	指示命令	・多くの人が一斉に指示命令をしていないか？ また一人の責任者に多くの人が報告や指示を仰いでいないか？	4 ・本部長以外の要員から各担当者に指示していないか？ ・権限委譲がなされてなく、すべてのことを責任者に指示を仰いでいないか？
		・現場がやるべきことを明確に指示しているか？ また本部員は各自の役割ごとに対応できているか？	2 ・各チーム責任者は、自分の役割に沿った行動ができているか？ ・指示者は、具体的に担当者へ指示しているか？（抽象的になっていないか？）
		・優先事項や重要事項を明確にして指示しているか？	4 ・指示者は、優先事項を検討・意識して、具体的に指示しているか？
		5.3	
意思決定力	対応優先順位	・緊急対応や業務継続に必要なアクションプランを立案しているか？	4 ・先を見据えた戦略的な行動計画を立てているか？
		・復旧のための優先順位は正しいか？ また優先順位を付けた作業から優先的にできているか？	5 ・優先すべき業務を明確にして、対応や進捗管理はできているか？
		・重要事項の情報や作業内容の記録はとっているか？	4 ・重要インシデントのインプットとアウトプットは、分かり易く記載されているか？
	対応時間	・対策本部での意思決定は適切な時間で行なわれているか？ （結論を出すのに時間が掛かっていないか？）	2 ・対策本部の意思決定は、正確な情報に基づき適切な時間内に決定されているか？
		・状況の誤判断による誤指示や対応遅れはないか？	4 ・情報の輻輳や誤認識により、誤った指示・対応遅延は発生していないか？
		・ペンディング事項は、進捗管理されているか？	2 ・重要な案件は、記載されており、随時進捗管理されているか？
		7.0	
BC対応力	部門間連携	・対策本部内や拠点間の連携はスムーズに行われているか？	2 ・対策本部と被災現場との連携は、スムーズにできていたか？
		・対策本部と業務復旧部隊との間にギャップはないか？	2 ・対策本部と復旧部門との間にギャップはなかったか？
		・現場からタイムリーに情報が上がっているか？	2 ・現場からの情報は、取捨選択された重要情報が上がってきたか？
	事業継続	・事業継続戦略、及びその手順は明確になっているか？	1 ・事業継続戦略は、明確になっており、具体的に指示されていたか？
		・BCP発動がされ、目標復旧時間（RTO）は達成できたか？	2 ・BCPは発動されたか？ ・各チームに通告されて、目標時間内に復旧できたか？
		・訓練中に、通常業務へ大きな影響は無かったか？	1 ・訓練実施中に、業務への影響は与えなかったか？
		3.3	

<評価>

5:大変良い 4:良い 2:やや問題あり 1:問題あり 0:未実施/なし

## 訓練（演習）評価結果



### 【総評】

---

---

---

---

### 1. 環境

---

---

### 2. ドキュメント

---

---

### 3. 組織体制

---

---

### 4. 意思決定力

---

---

### 5. BC対応力

---

---